

平成30年度つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

| 項目 | 2013年度実績値 (基準年度) | 2018年度実績値 | 基準値比 (%) | 達成状況 | 増減の主な要因 |
|---------------------------------|---------------------|------------|-------------|------|---|
| CO2排出量(t) | 51,709 | 58,179 | 12.5 | × | プラスチックごみの増加によるCO2排出量の増加、電力使用量・排出係数の増加の影響が大きい。 ※一般廃棄物の処理による排出(プラスチック焼却分等)含む。 |
| CO2排出量(t) (一般廃棄物の処理による排出を除く) | 20,828 | 22,697 | 9.0 | × | CO2排出内訳の約80%は電力によるもので、使用量の増加、排出係数の上昇の影響が大きい。 ※上記の目標のうち、エネルギー使用による排出量(一般廃棄物の処理による排出を除く。) |
| 電気使用量(kWh) | 33,306,289 | 37,139,242 | 11.5 | × | サステナスクエアは外部からの商用電力および自家発電機で発電した電力を使用している。2018年2月から6月まで自家発電機停止(タービン交換)のため、この期間において100%外部商用電力を使用した。 規模の大きい給食センターでの使用量増加、小学校の新設や空調の導入による使用量増加の影響が大きい。 |
| ガソリン購入量(L) | 217,266 | 191,330 | △ 11.9 | ○ | 公用車の走行距離を約15%削減することができたこと、次世代型車両の購入によって、燃費の向上が図られた。なお、市民サービスの拡充等により出先機関の使用量は増加傾向にある。 |
| 軽油購入量(L) | 89,696 | 69,977 | △ 22.0 | ○ | BDF使用予定の車両での軽油使用が増加の大きな要因である。前年度比では、福祉支援センターくさぎのバスが廃車となり、ワゴン車(ガソリン)に変更となったため、大幅な削減があったが、消防本部や幼稚園の大型車両で増加があったため、ほぼ横ばいである。 |
| A重油購入量(L) | 162,800 | 66,480 | △ 59.2 | ○ | エネルギー転換(A重油→都市ガス)によって大幅に削減されたが、前年度と比較すると経済部の出先機関や給食センターで削減された一方で、配水施設での購入量が増加した。 |
| 灯油購入量(L) | 520,478 | 425,155 | △ 18.3 | ○ | エネルギー転換(灯油→都市ガス)によって減少しているが、前年度と比較すると規模の大きいクリーンセンターや支援センター、窓口センターなどで増加している。 |
| 都市ガス使用量(m ³) | 572,328 | 930,533 | 62.6 | × | エネルギー転換によって使用量は増加している。主に小学校への都市ガスの空調導入、給食センター、消防庁舎の新設で増加している。 |
| プロパンガス使用量(kg) | 43,080 | 42,410 | △ 1.6 | ○ | 給食センターでの都市ガスへの転換により削減となっているが、保育所での使用は増加している。 |
| 熱使用量(MJ) | 6,895,973 | 8,036,945 | 16.6 | × | 地域で使用しているため、各施設の努力が反映されにくく、削減が難しいが、電力使用量の削減が熱使用量の削減にもつながる。 |

※電気使用量は、クリーンセンターが使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量を除いて算出。